

SR-P Series



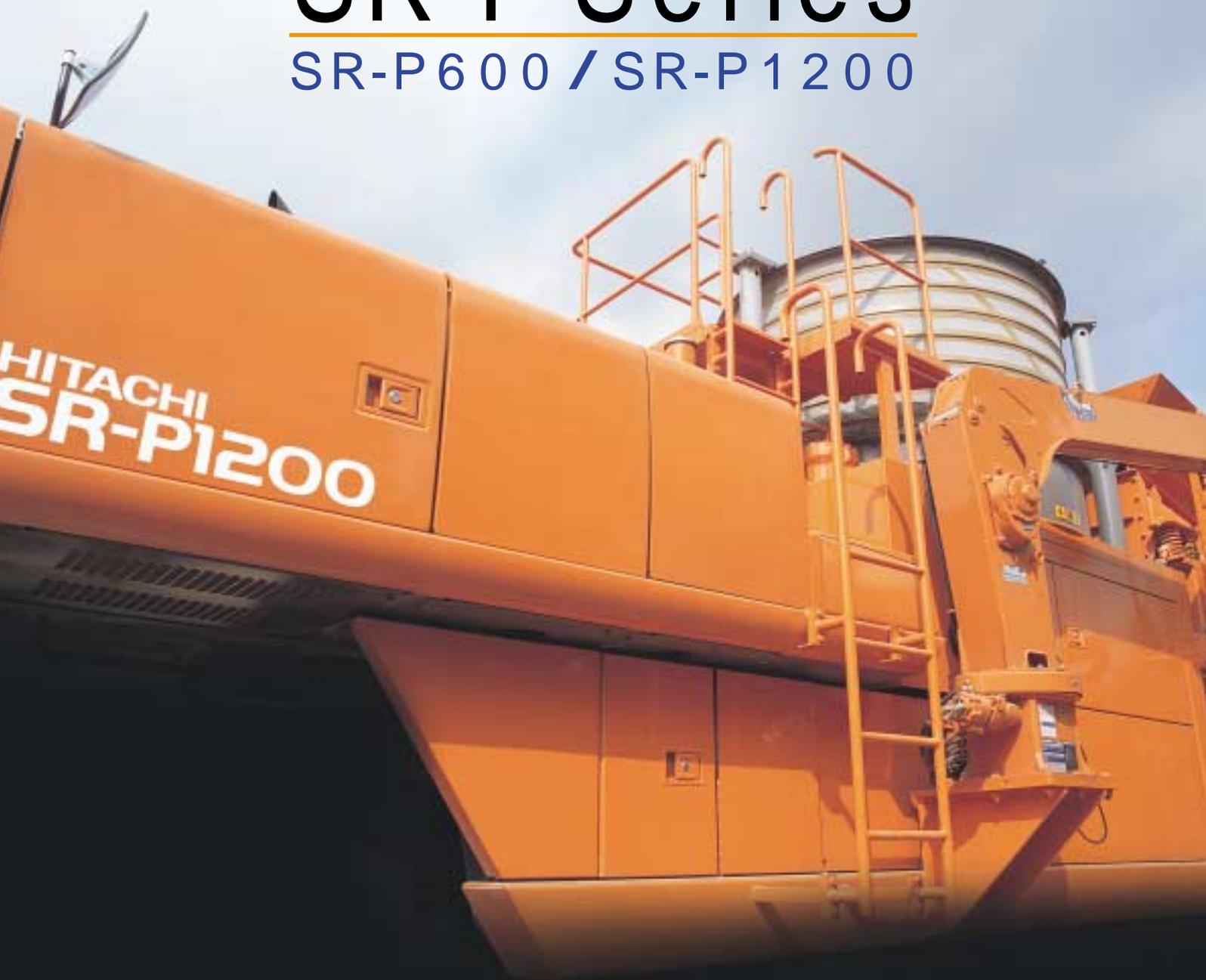
HITACHI



自走式土質改良機

SR-P Series

SR-P600 / SR-P1200



土をリサイクル

土も大切な資源です。
限りある資源を有効活用するために、
SR-Pシリーズは、建設発生土をリサイクルします。

稼働写真は、お客様が改造された部分が含まれており、販売仕様と一部異なっております。



コンパクトボディに高性能を凝縮

SR-P600

SR-P1200で培った土質改良技術を踏襲。
さらに施工性や利便性・輸送性を追求しました。

最大処理量：60t/h

<注> 処理量は、土の性状や作業の条件により異なります。



定置式プラント並みの
処理量と品質を両立

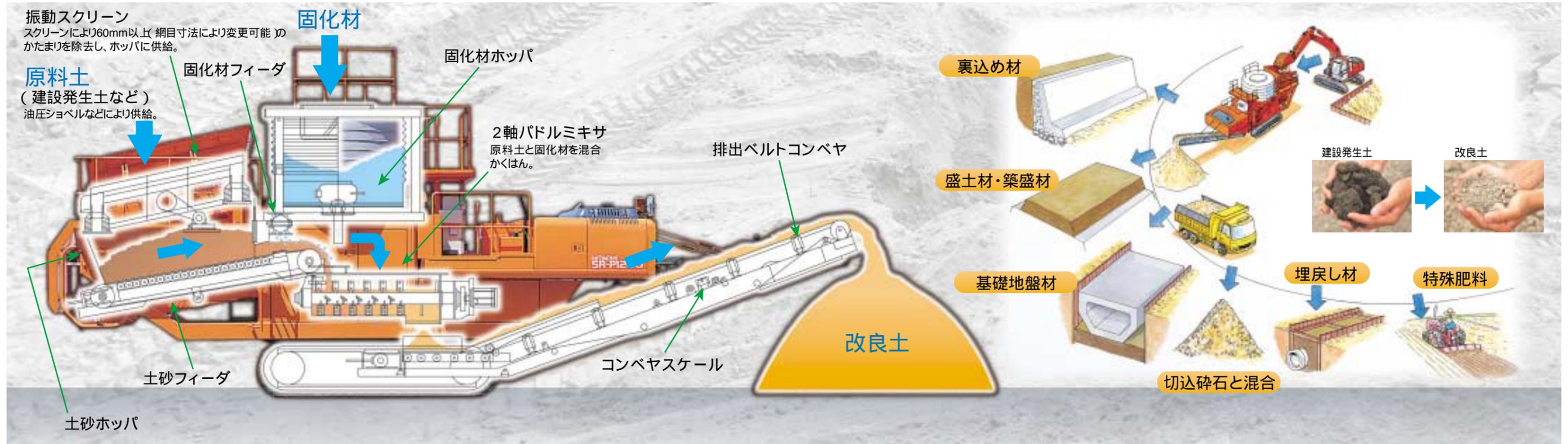
SR-P1200

混合性能に優れた「2軸パドルミキサ」を採用。
低コストで高品質な土質改良を実現しました。

最大処理量：120t/h

<注> 処理量は、土の性状や作業の条件により異なります。

低コストで、高品質なリサイクルを実現



作業性

高い混合効率で広範囲の土質に対応

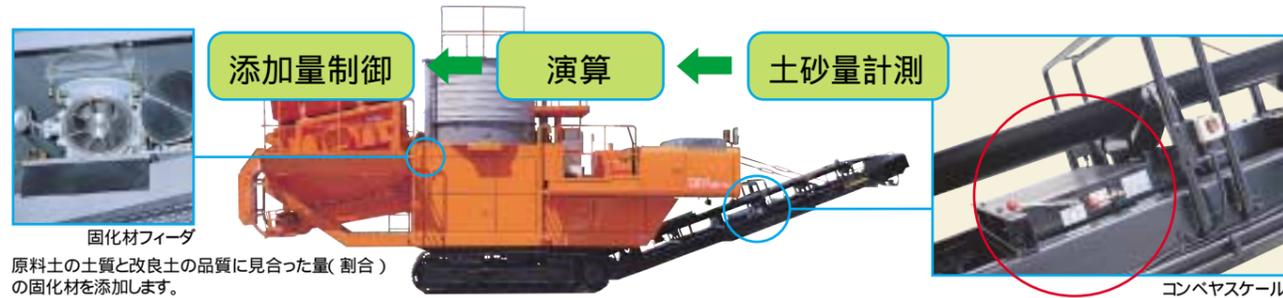
振動スクリーン(60mm×120mm)を標準装備。混合効率の高い2軸パドルミキサを採用し、高粘性土から砂質土まで、さまざまな原料土に対して効率良く高品質な土質に改良します。



高精度の固化材供給システムで固化材コストを低減

コンベヤスケールにより改良土の質を直接計測し、比例制御方式により設定添加率の固化材を供給します。

高精度固化材供給システム(特許出願中)



クレーンを標準装備

固化材ホッパ伸縮作業や固化材の投入作業は、標準装備のクレーンで行うことができます。

最大つり上げ能力(最縮/最伸)
2.6tx1.6m / 1.2tx3.0m



操作性・安全性

ワンマンコントロールが可能

スイッチひとつで連動運転が可能。万一の異常発生時には回転灯・警報で知らせ、異常状態を操作盤に表示します。



土砂フィーダの起動・停止は無線リモコン操作でできます。



機動性・輸送性

現場内、現場間の移動が容易

自走式クローラで、現場内を機敏に移動。トラック・トレーラへの丸積輸送を可能にする、伸縮式固化材ホッパを採用。



写真は、固化材ホッパを縮め、振動スクリーンのあおりを倒し、固化材ホッパ部の手すり SR-P1200のみを外した状態です。

土質・作業条件に合わせたオプションを用意



アーチブレイカ
土砂ホッパ内の架橋を防止します。
ブレード型スクリーン
高粘性土を切る構造により、スクリーン通過効率を向上させます。

さまざまな現場で稼働



SR-P1200

砕石山の表土を改良



SR-P600

建設発生土を改良

SR-Pシリーズの優れた混合性能と高精度固化材供給システムは、改良土製造以外の工法にも適用可能です。



SR-P特殊仕様機：SR-P1200をベースに混合機容量を拡大させた仕様。処理能力は向上しますが、適応土質に限られます。

セメント安定処理路盤材の製造

既存のソイルプラントの3分の1程度の敷地で施工が可能。工期短縮・コスト削減に大きく貢献。

管理型産業廃棄物最終処分場における遮水材(ベントナイト混合土)の製造

厳しい添加率管理が要求される工事において、高精度固化材供給システムによる品質管理で対応。

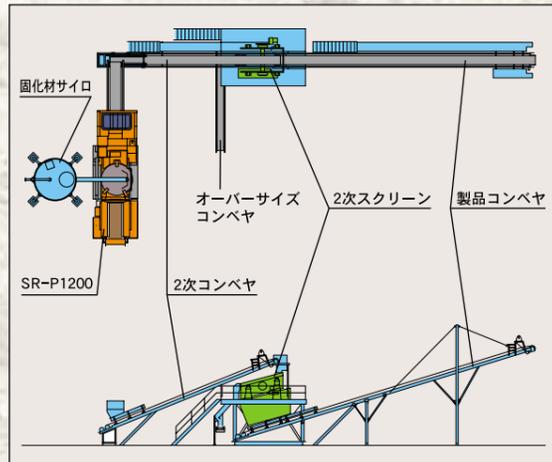


SR-P1200

土質改良システムへの対応

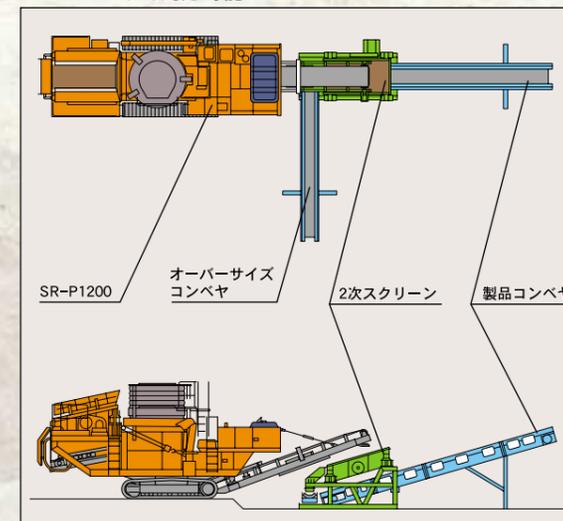
ニーズに合わせた改良土を製造するために、土質改良システムを提案しています。

SR-P1200土質改良システム(例1)



SR-P1200

SR-P1200土質改良システム(例2)
SR-P600にも対応可能



SR-P1200

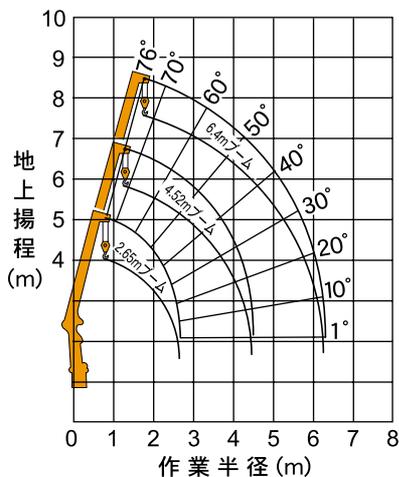
SR-P Series

仕様

型式	SR-P600	SR-P1200	
運転質量	t 11.8	21.0	
寸法	全長 mm	9,130	12,570
	全幅 mm	2,490	2,990
	全高(輸送時) mm	3,830(2,720)	5,180(3,500)
エンジン	型式	いすゞA-4BGIT	いすゞA-6BGIT
	総排気量 L	4.329	6.494
	定格出力 kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	63/2,100(85/2,100)	99/1,950(135/1,950)
混合機	処理量*1 t/h(m ³ /h)	最大60(40)	最大120(80)
	混合方式	2軸パドルミキサ	
	土砂ホッパ容量 m ³	0.9	1.8
	最大許容塊 mm	60(振動スクリーン選別)	
固化材ホッパ容量 m ³	2.5(伸縮方式)	3.0(伸縮方式)	
走行部	シュー形式	トリプルグロース	
	シュー幅 mm	450	500
	接地圧 kPa(kgf/cm ²)	51.2(0.52)	66.0(0.67)
	走行速度 km/h	3.0	3.5
油類容量	燃料タンク L	250	310
	作動油タンク L	120	200
計量装置	コンベヤスケール(連続式土砂量計測器)		
クレーン性能*2 最縮/最伸 t×m	2.6×1.6/1.2×3.0		

<注> 単位は、国際単位系(SI)による表示です。
 ()内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。
 輸送時は固化材ホッパを縮め、振動スクリーンのあおりを倒し、固化材ホッパ部の手すりを外します。
 *1は、土の性状や作業条件により異なります。
 *2は、最大つり上げ能力時の数値です。

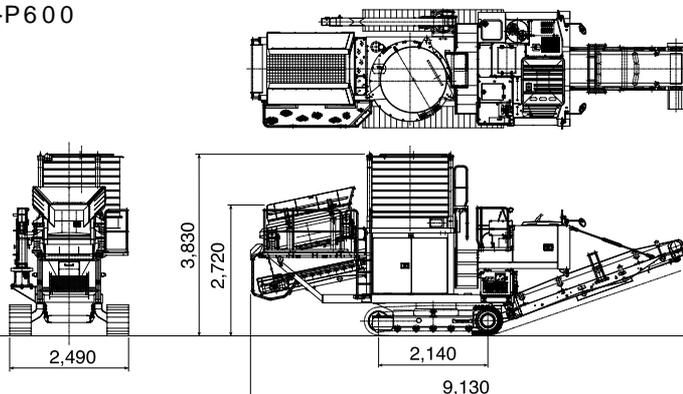
クレーン作業範囲



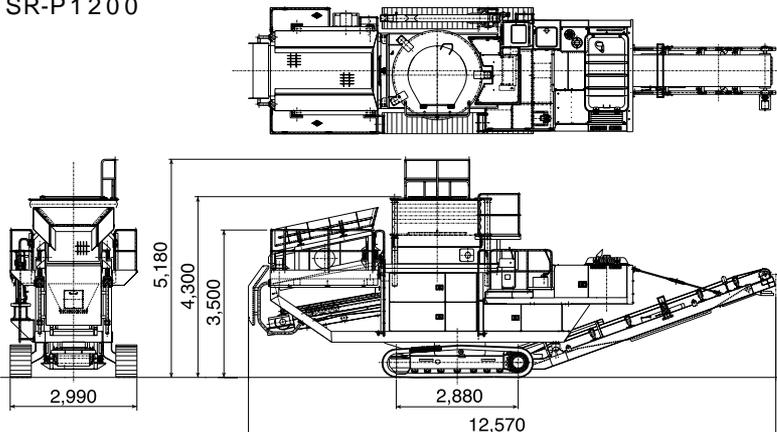
寸法図

単位: mm

SR-P600



SR-P1200



オプション

清掃用エアコンプレッサ データ出力装置 集塵機
 振動スクリーン用網(60mm×120mm以外の網) トラックガード
 データ出力機能: 日報・月報データを取得できます。(ICカードまたはプリンタ出力を選択できます)

作業量拡大型の自走式土質改良機

地盤改良、粘性土・高含水比土質に好適



SR-G2000
 最大処理量*: 135m³/h

作業量拡大型の自走式土質改良機。
 固化材コストを低減し、効率良く高品質な改良土を生産。
 *処理量は、土の性状や作業条件により異なります。

日立建機株式会社

東京都文京区後楽2-5-1 〒112-8563
 国内事業本部 ☎ 03)3830-8040
 URL: <http://www.hitachi-kenki.co.jp>



正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。
 ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

お問い合わせは...

カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
 掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。
 機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
 機体重量3t以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
 クレーン部を使用する場合は「小型移動式クレーン運転技能講習修了証」「玉掛け技能講習修了証」の取得が必要です。
 本機をトレーラなどで輸送する場合は、関係官庁(警察署、国道工事事務所など)の通行許可が必要です。また、輸送時の質量と寸法については、関係法規(道路交通法、道路運送車両法、道路法)に従い、事前にご確認ください。

資格取得のご相談は 株 日立建機教習センターの各教習所へ
 教習センター TEL. 048-931-0121 神奈川 TEL. 042-730-6716
 北海道 TEL. 0133-64-6388 愛知 TEL. 0564-43-6578
 宮城 TEL. 022-364-6143 京都 TEL. 075-957-4944
 埼玉 TEL. 048-931-0121 岡山 TEL. 086-464-5411
 茨城 TEL. 029-828-2370 福岡 TEL. 092-963-3634

PRINTED WITH SOY INK. 環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。